


多賀城市
中学3年生アンケート
調査報告書



平成27年10月
宮城県
多賀城市市長公室

目 次

1 調査目的	1
2 調査概要	1
2.1 サマリー	2
2.2 回答者プロフィール.....	3
3 一次集計結果	5
3.1 家族、友だちの存在.....	5
3.2 将来の夢の有無	6
3.3 独立意向と希望居住地.....	6
3.3.1 家族からの独立意向	6
3.3.2 独立する際の希望居住地	7
3.4 多賀城市への愛着.....	7
3.5 多賀城市での暮らし.....	8
3.5.1 多賀城市の暮らしの満足度	8
3.5.2 多賀城市の暮らしの重要度.....	9
3.5.3 暮らしの満足度と重要度	10
4 クロス集計結果	12
4.1 「夢を持つ中学3年生」	12
4.1.1 独立意向と夢の関係	12
4.1.2 多賀城市への愛着と独立意向の関係	14
4.2 暮らしの満足度	15
4.2.1 男女別にみた暮らしの満足度	15
4.2.2 社会性を培う場	18
4.2.3 「ふるさと多賀城市」への愛着	18
4.3 結婚への憧れ	22
4.3.1 結婚の意志.....	22

4.3.2 将来の“自分の子ども”.....	22
5 参考資料.....	23
5.1 独立意向の実態	23
5.2 調査票.....	24

1 調査目的

多賀城市では、同市の将来を考える人口ビジョン、地方版総合戦略を策定するにあたり、地域社会や同市の将来を担う、市内の公立中学校に通う中学3年生全員を対象に調査を実施。調査により、将来の独立後の市内外における居留意向や、育った地域・土地に対する愛着、暮らしへの満足度、重視度などを明らかにしている。これを元に、今後の施策策定への参考とするものである。

2 調査概要

本調査は平成27年4月現在、多賀城市内の公立中学校に通う中学3年生589人（男子303人、女子286人）を対象に実施。平成27年6月3日～17日の間に学校で調査票を配布、記入したものを、学校ごとにまとめて回収した。

回答者数は558人（男子280人、女子275人、無回答3人）、回収率は94.7%。

2.1 サマリー

《1次集計分析》

- 概ね9割以上の中学生3年生は、家族や友だちを「大切な存在」とみている
- 8割の中学3年生が将来の「夢」を持つ
- 進学や就職の際に独立する意向は半数以上にのぼり、結婚時も含めると7割弱が独立意向をもつ。独立時に希望する居住地は、「わからない」が4割強、「多賀城市」に残るが13.1%
- しかし、多賀城市に対する愛着は8割が持つ
- 現在の暮らしの満足度は——
満足度の高い項目：「ショッピングの場」「友人と集まれる場」「交通の便」
不満の大きい項目：「イベントに参加できる場」「通える距離に大学」「スポーツできる場」
*満足度の高い項目は「満足」と回答した数の順位、不満の大きい項目は「どちらかといえば不満」「不満」が合計したもの
- 暮らしで重視することは、暮らしの満足度の高い項目と連動している
重要だとしている項目：「交通の便」「ショッピングの場」「友人と集まれる場」「通える距離に高校がある」

《クロス集計分析》

- 多くの「夢を持つ中学3年生」のうち、「進学時」独立したい子は東京・首都圏へ。「結婚時」独立、「家族と一緒に住む」予定の子は、地元志向派（多賀城市ならびに近郊）
- 「進学の際に独立したい」と思う中学3年生ほど、夢に向けた努力をしている。だが、夢が明確である分、他のタイミングでの独立より多賀城市を早くから離れる意志が強い
- 「進学→就職→結婚」というライフステージが上がって独立するほど、「多賀城市への愛着」は強まる
- 暮らしの満足度に男女差がある項目は、「友人と集まれる場」「学習できる場」。この2項に関しては女子のほうがやや厳しい評価

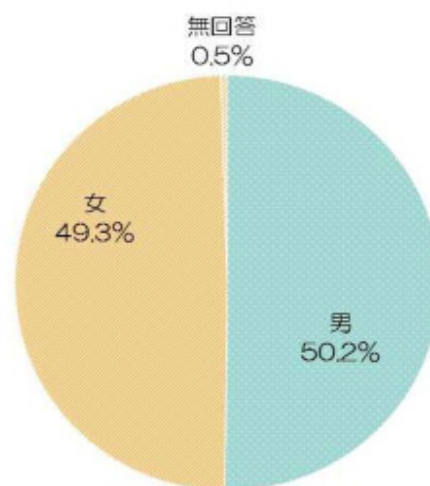
2.2 回答者プロフィール

回答者 558 人の性別（図表 1）は、男子 50.2%、女子 49.3%。

通学する中学校（図表 2）は、「高崎中学校」36.0%、「多賀城中学校」28.3%、「第二中学校」26.0%、「東豊中学校」9.7%。

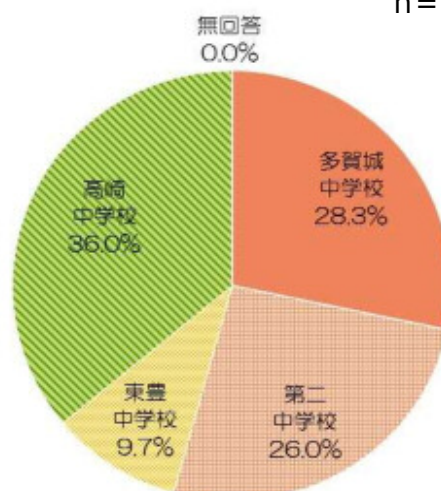
図表 1 中学 3 年生の性別（問 1）

n = 558



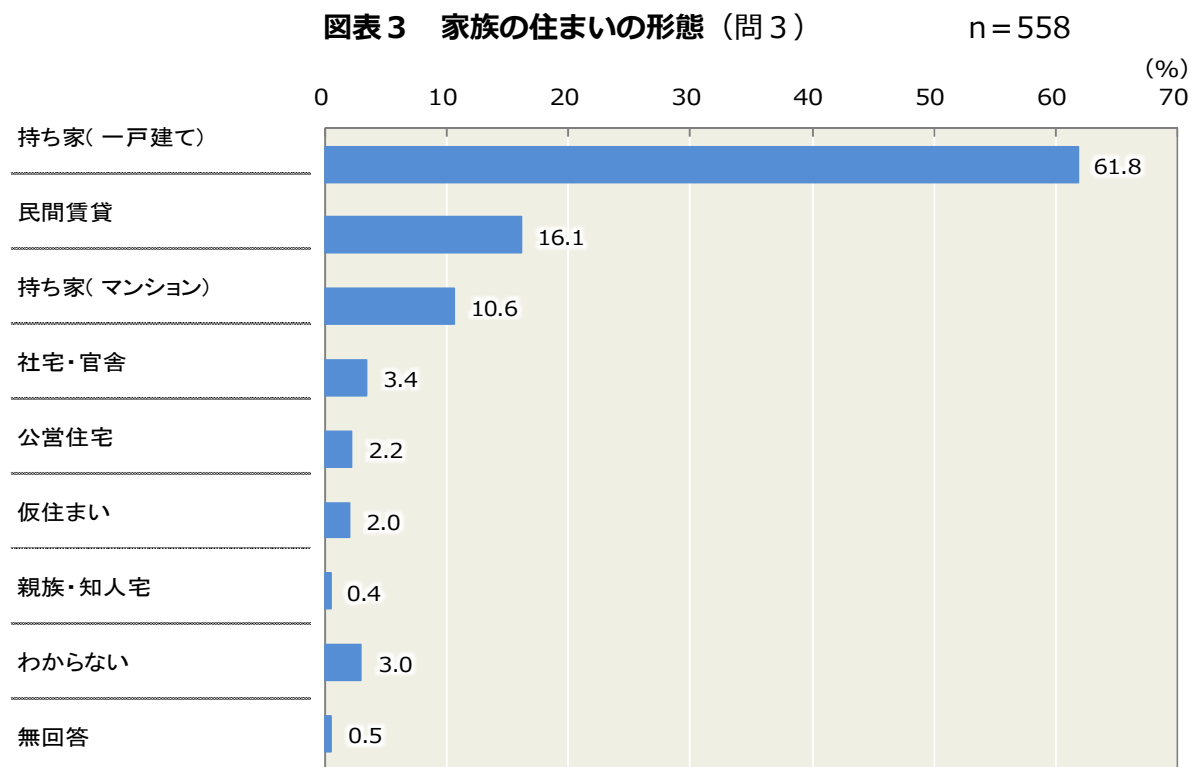
図表 2 現在、通学中の中中学校（問 2）

n = 558



2.3 回答者家族の住まいの形態

住まいの形態は、「持ち家（一戸建て）」61.8%が最も多く、「民間賃貸」16.1%、「持ち家（マンション）」が10.6%と続く。

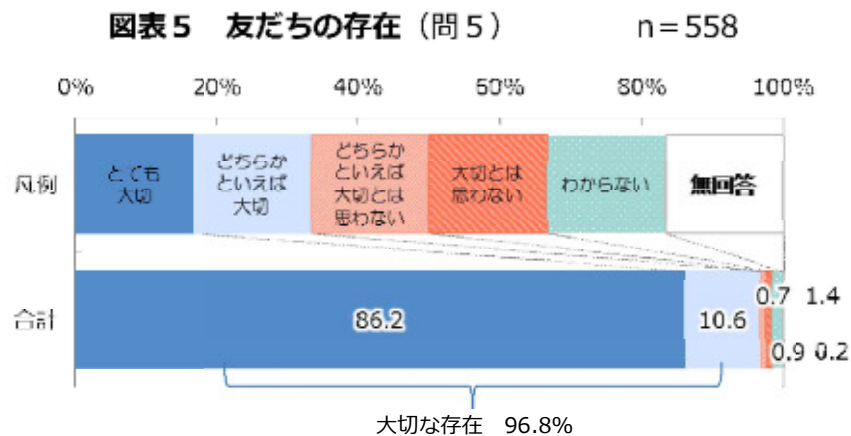
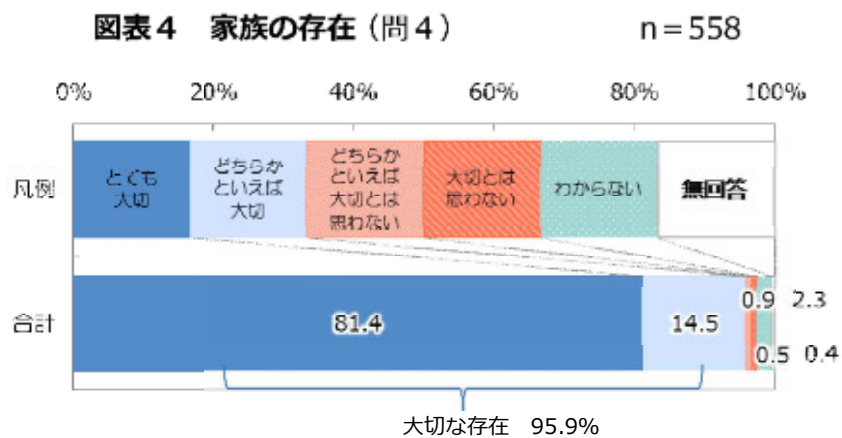


3 一次集計結果

3.1 家族、友だちの存在

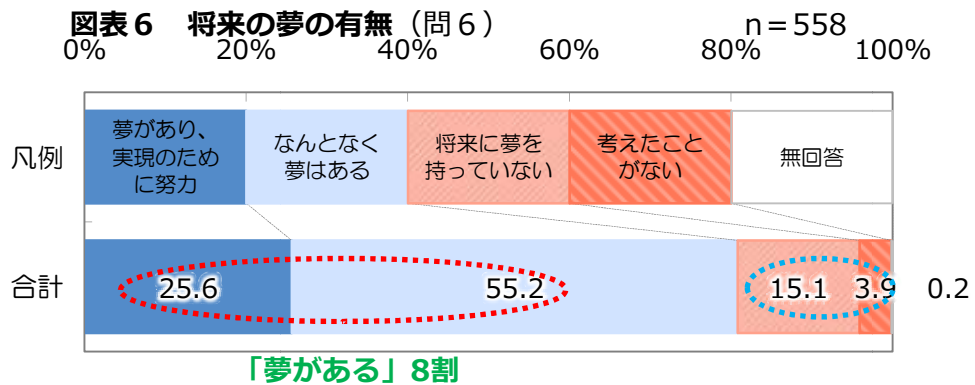
家族の存在は、「とても大切」81.4%と、「どちらかといえば大切」14.5%をあわせると、大部分の回答者（95.9%）が大切だとしている（図表4）。

友だちの存在は、「とても大切」86.2%、「どちらかといえば大切」10.6%をあわせると、大部分の回答者（96.8%）が大切だとしている（図表5）。



3.2 将来の夢の有無

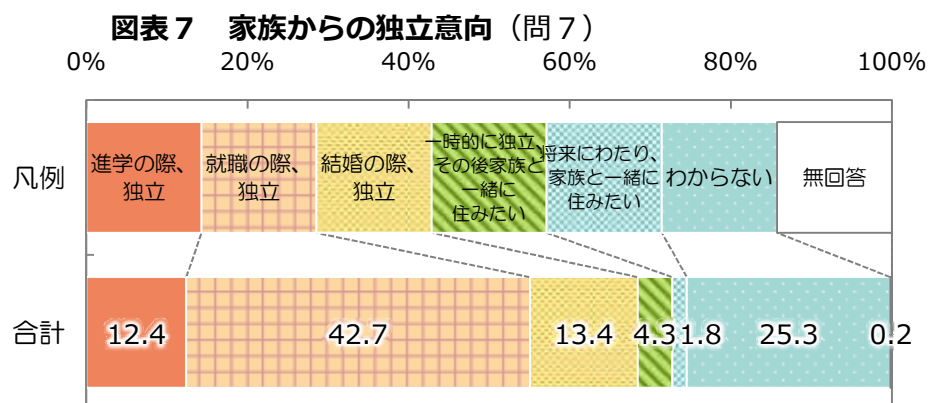
将来に対して、「夢があり、実現のために努力」25.6%と、「なんとなく夢はある」55.2%をあわせると、約8割の回答者が「夢がある」と回答。一方、「将来に夢を持っていない」15.1%、「考えたことがない」3.9%が全体の2割弱おり、中学3年生の1学期の時点では将来の夢に関心が薄い層がいることもわかった。



3.3 独立意向と希望居住地

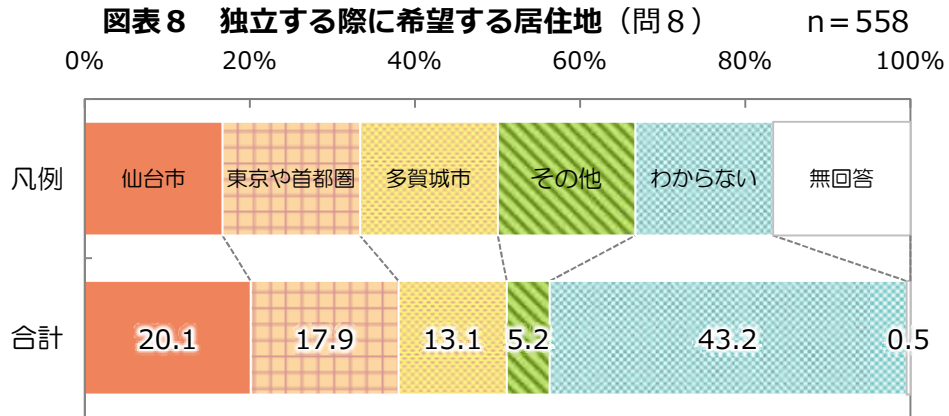
3.3.1 家族からの独立意向

家族からの独立の意向は、「進学の際、独立」12.4%、「就職の際、独立」42.7%と半数以上の回答者が、進学や就業のタイミングでの独立意向を持っている。また、「わからない」と25.3%が回答している。



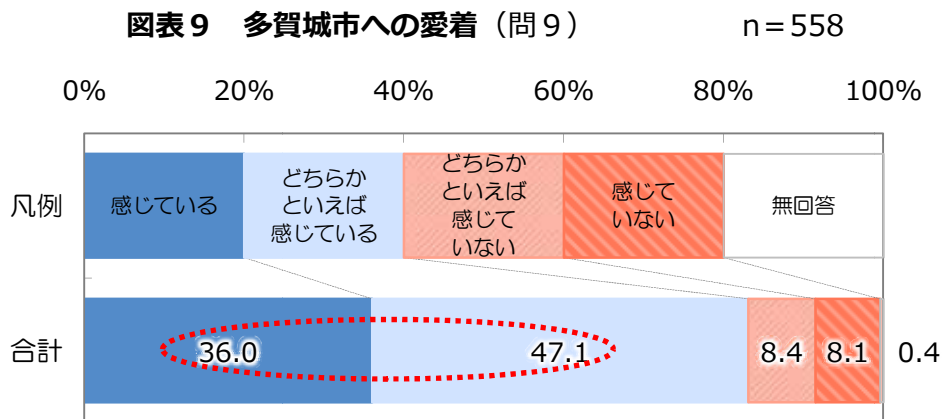
3.3.2 独立する際の希望居住地

独立する際に希望する居住地は、「仙台市」20.1%で、「東京や首都圏」17.9%、「多賀城市」13.1%と続く。また、「わからない」と43.2%が回答している。



3.4 多賀城市への愛着

多賀城市への愛着は、「感じている」36.0%と「どちらかといえば感じている」47.1%をあわせると、8割強の回答者が「多賀城市への愛着を感じている」と回答している。



3.5 多賀城市での暮らし

3.5.1 多賀城市の暮らしの満足度

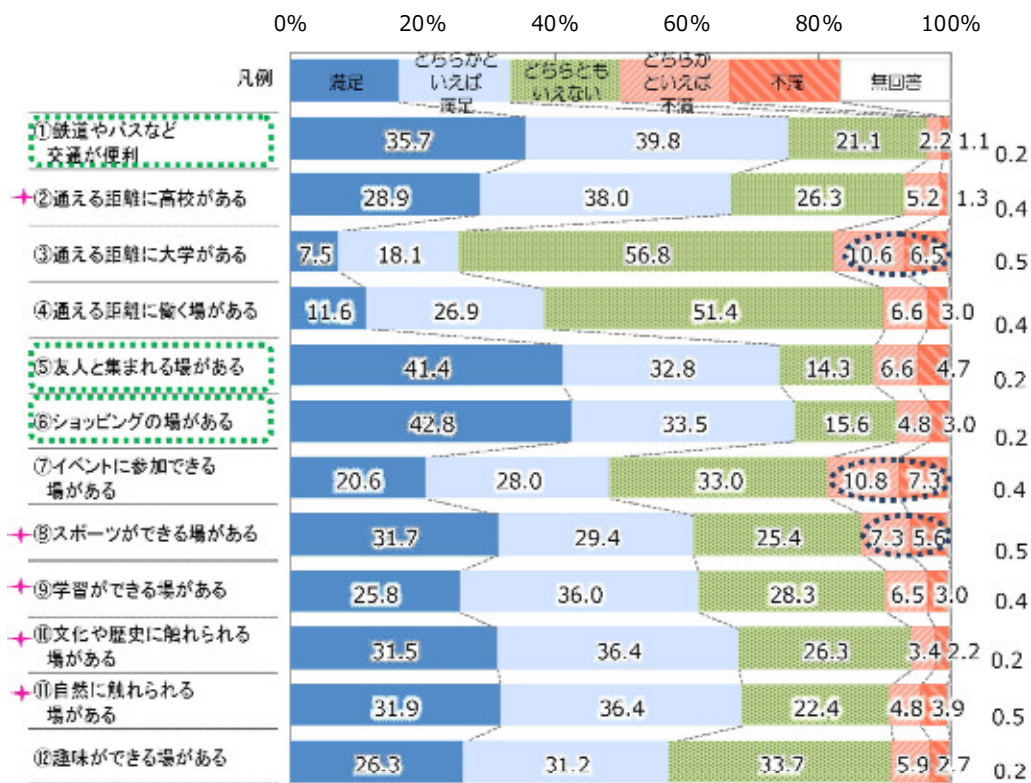
多賀城市の暮らしの満足度の上位に挙げられたのは、「満足」「どちらかといえば満足」の合計値でみると、「⑥ショッピングの場がある」76.3%、「①鉄道やバスなど交通が便利」75.5%、「⑤友人と集まれる場がある」74.2%。中学生らしくショッピングや友だちとの交流の場の存在や通学の利便性のよさを、7割以上の中学生は満足度が高いと指摘している。

続いて、「⑪自然に触れられる場がある」68.3%、「⑩文化や歴史に触れられる場がある」67.9%、「②通える距離に高校がある」66.9%、「⑨学習ができる場がある」61.8%、「⑧スポーツができる場がある」61.1%と、6割台と毎日の生活ではないものの、回数頻度のやや低い、スポーツや自然とのふれあいの場、また今後の高校進学時のことをイメージした項目が挙げられている。

一方、「不満」「どちらかといえば不満」の合計値でみると、「⑦イベントに参加できる場がある」18.1%、「③通える距離に大学がある」17.1%、「⑧スポーツができる場がある」12.9%と続く。

図表 10 暮らしの満足度 (問 10)

n = 558



3.5.2 多賀城市の暮らしの重要度

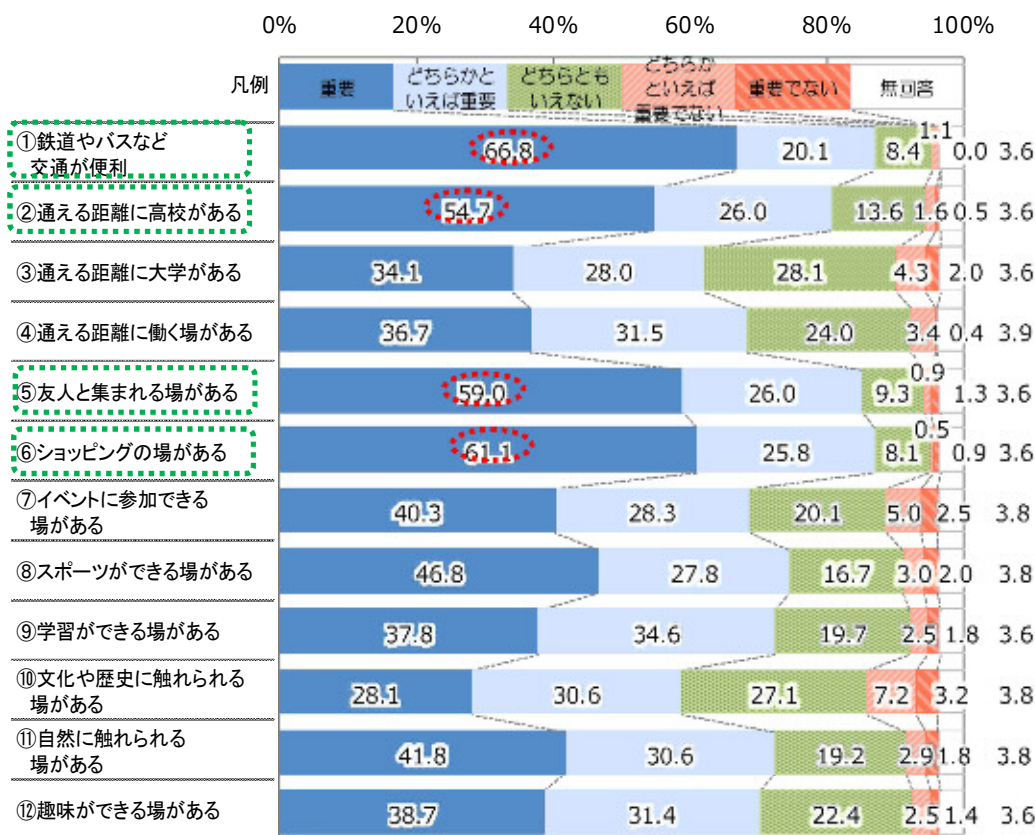
多賀城市の暮らしの重要度の上位に挙げられたのは、「重要」「どちらかといえば重要」の合計値でみると、「①鉄道やバスなど交通が便利」86.9%、「⑥ショッピングの場がある」86.9%、「⑤友人と集まれる場がある」85.0%、「②通える距離に高校がある」80.7%と、8割以上の中学3年生が交通の利便性など日常生活の便利さやコミュニケーション環境を重視している。次いで、「⑧スポーツができる場がある」74.6%、「⑨学習ができる場がある」72.4%、「⑪自然に触れられる場がある」72.4%、「⑫趣味ができる場がある」70.1%と、7割台がスポーツや課外での学習の場、趣味の場などを重視するとしている。

一方、「重要ではない」「どちらかといえば重要ではない」の合計値では、「⑩文化や歴史に触れられる場がある」10.4%が最も高くはなっているが、他は1割未満となっており、それほど大きな違いは見られない。

中学3年生にとって、日常生活の利便性とコミュニケーションを重視することが、暮らしの重要な部分といえる。

図表 11 暮らしの重要度 (問 11)

n = 558



3.5.3 暮らしの満足度と重要度

前項で暮らしの満足度と重要度を個別に聞いたが、その両者の相関をとったものが、図表 12 である。

満足度の 12 の項目ごとに、選択肢を得点化（「満足」を 5 点、「どちらかといえば満足」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば不満」を 2 点、「不満」を 1 点）し回答者数を掛けて、その平均値をとってマッピングしたものである。暮らしの満足度の平均は 3.75 であった。

同様に、重要度も選択肢を得点化（「重要」を 5 点、「どちらかといえば重要」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば重要でない」を 2 点、「重要でない」を 1 点）し回答者数を掛けると、平均値は 4.18 であった。

図表 12 の A 象限は、満足度と重要度の相関が高いもの。「⑥ショッピングの場がある」「①鉄道やバスなど交通が便利」「⑤友人と集まれる場がある」は特に高く、やや低くなって「②通える距離に高校がある」が挙げられる。

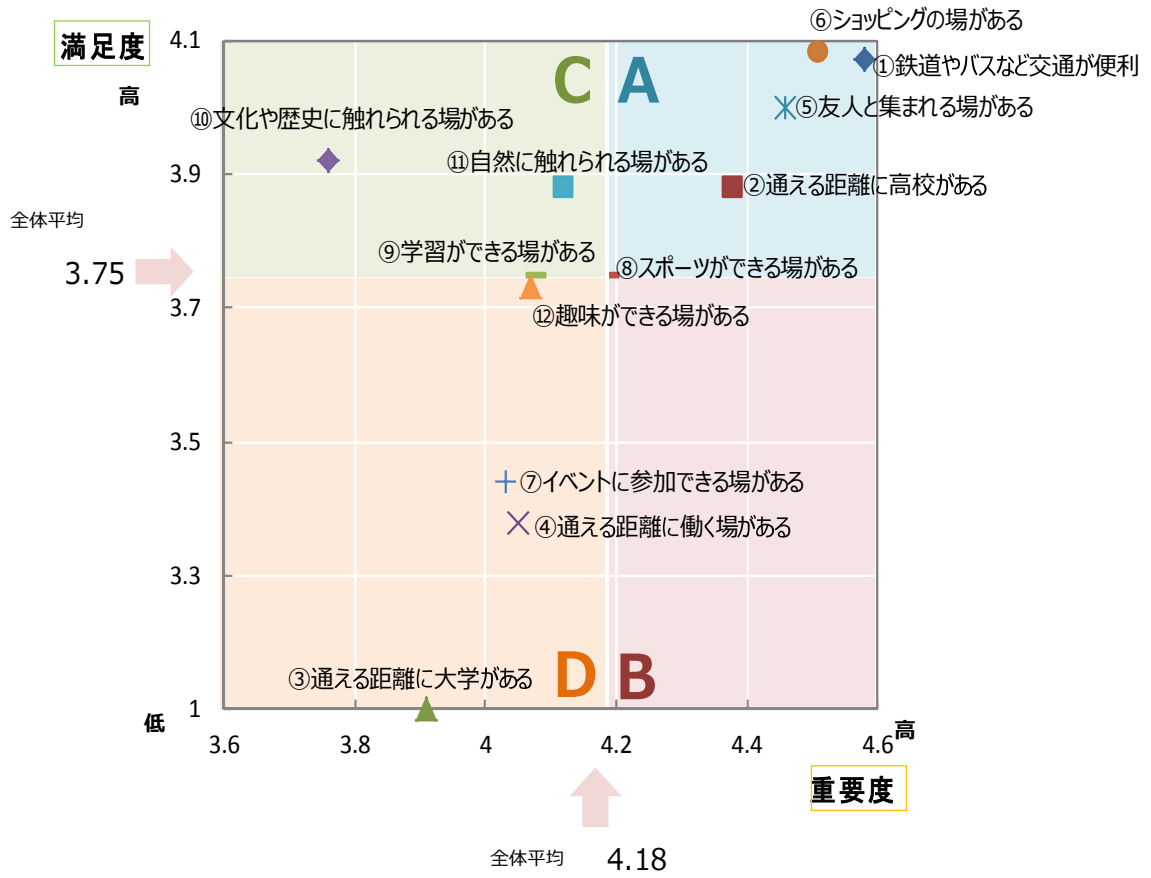
B 象限は、満足度が低く重要度が高いもの。今回の調査では、満足度の低いものは重要度も低い傾向にあり、結果として 1 つも存在しなかった。多賀城市の場合、交通・ショッピングがいずれも A 象限にあるため、中学 3 年生にとって日々の生活では満足度を実感しやすかったといえる。

C 象限は、満足度が高く重要度の低いもの。「⑩文化や歴史に触れられる場がある」「⑪自然に触れられる場がある」「⑨学習ができる場がある」が挙げられた。多賀城市内では十分に満足できる環境は整っているものの、中学 3 年生にとっては重要度が低いと出た。

D 象限は、満足度、重要度ともに平均値より低いものである。「③通える距離に大学がある」「④通える距離に働く場がある」「⑦イベントに参加できる場がある」「⑫趣味ができる場がある」が挙げられた。

図表 12 暮らしの満足度と重要度

n = 558



4 クロス集計結果

4.1 「夢を持つ中学3年生」

4.1.1 独立意向と夢の関係

全体では約8割が、何らかの夢を持っていることがわかった（図表6）。

性別で見ると、夢を持っており、努力をしていると明確に意思表示したのは『男子』よりも『女子』のほうが11.6ポイントほど高い（男子20.0%、女子31.6%）。「将来に夢を持っていない」は男子と女子で大きな差がなく、ほぼ同じ割合でいることがわかるが、「考えたことがない」と回答した『男子』は7.5%おり、女子に比べ、相対的にみると将来に対して具体的な考えや行動が伴わない層が多いといえる。

“夢を持つ”中学3年生は、「進学の際」に家族からの独立意向が高く（36.2%）、進路がはっきりしているせいか、独立の時期も想定しているようだ。加えて、「家族と一緒に住む」意向派も「夢があり実現のために努力」（35.3%）する子が多い。一方、“夢を持たない”中学3年生は、先のことは「わからない」が最も多く、「就職の際」に独立するだろうと想定するものの、進学に対しては曖昧なままである。自分の将来の暮らし、ライフデザインを意識してもらうには、夢を持つことが大きく関わってくる。そして、いつ独立するかというタイミングを考えることにつながっていく。

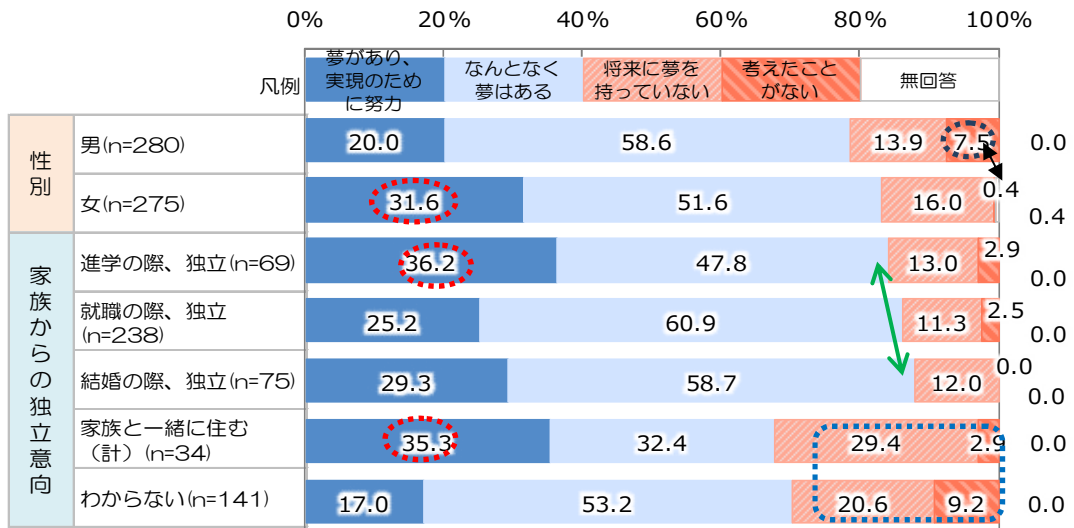
独立意向別にみて「家族と一緒に住む」「わからない」とした中学3年生は「将来に夢を持っていない」「考えていない」と3割が回答している（図表13）。また、「家族と一緒に住む」意向派は夢の実現のために行動しようとする子と、まだ将来に夢を持っていない子の割合が拮抗する結果となった。

また、進学時に独立を考える中学3年生は、「東京や首都圏」への居住を希望する、「上京志向派」の割合が3分の1にのぼる。その一方、「結婚時」独立意向の人、「家族と一緒に住む」人の多くは、近郊の仙台市や多賀城市内に住みたいと考える、「地元志向派」が半数以上にのぼる（図表14）。

進学時に独立する人、結婚時に独立する人、家族と住み続けたい人——中学3年生の時点でも、それぞれの層がいる。中学3年生も、やがて大人になり、それぞれのライフスタイルをもって暮らしていく。いずれの独立時点であっても、ふるさと多賀城に「よい感情」をもってもらうことは重要である。夢と将来の独立意向は密接な関係をもっていることが、本調査で明らかになった。

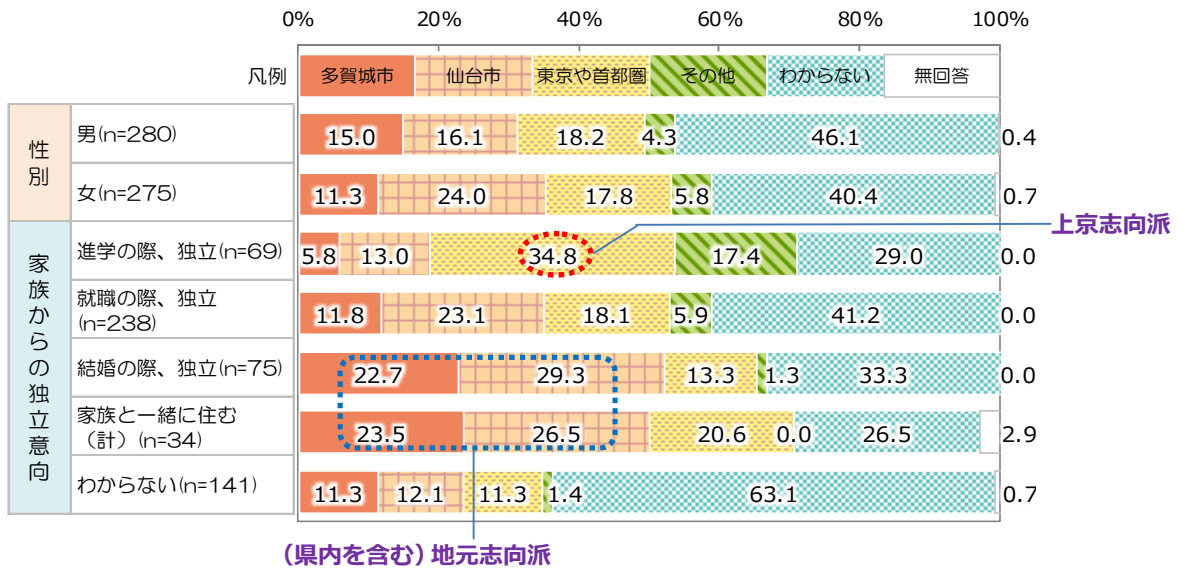
図表 13 独立志向と夢の関係

n = 558



図表 14 独立志向と地域の関係

n = 558



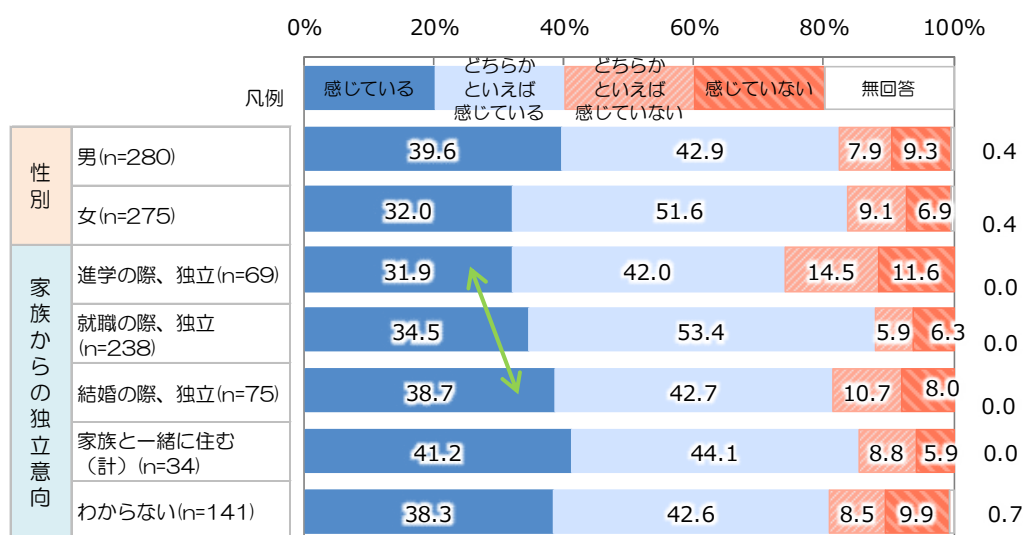
4.1.2 多賀城市への愛着と独立意向の関係

ふるさと多賀城への愛着は、約8割が感じているが、「愛着がない」とする否定的な回答数は1割以下と少ないことがわかった。単純に愛着の有無で将来の独立意向を比較することは難しいので、ここでは「夢を持つ中学3年生」の傾向として読み取りたい。また、「愛着」とは現時点の多賀城市に対する“感情”であるため、特に「感じている」と明確な意思表示をした回答者について分析してみたい。

性別でみると、愛着を「感じている」とする割合は女子（32.0%）より男子（39.6%）のほうがやや多かった。「夢があり実現のために努力する」割合が女子のほうが多いことを考えると、“愛着と夢”は強い相関関係にあるとはいえない。

また、家族からの独立のタイミングでみると、“進学 → 就職 → 結婚”とライフステージが上がってからの独立を考えている人のほうが、多賀城市に愛着を強く「感じている」傾向がある。早い時期から独立を意識する人は、夢が明確である分、多賀城以外の地域にも目が向いているといえる。とはいえ、それでも7割以上が多賀城市に愛着を持っているのが中学3年生である。こうした中学3年生の愛着の強さ、郷土愛を、さまざまな世代に知ってもらうことも意味があるだろう。中学生だけでなく、どの世代にも共通していえることではあるが、市民が「ふるさと多賀城」を継続的に実感できる機会の創出と、情報発信は重要だと考えられる。

図表 18 独立意向と多賀城市への愛着の関係



4.2 暮らしの満足度

4.2.1 男女別にみた暮らしの満足度

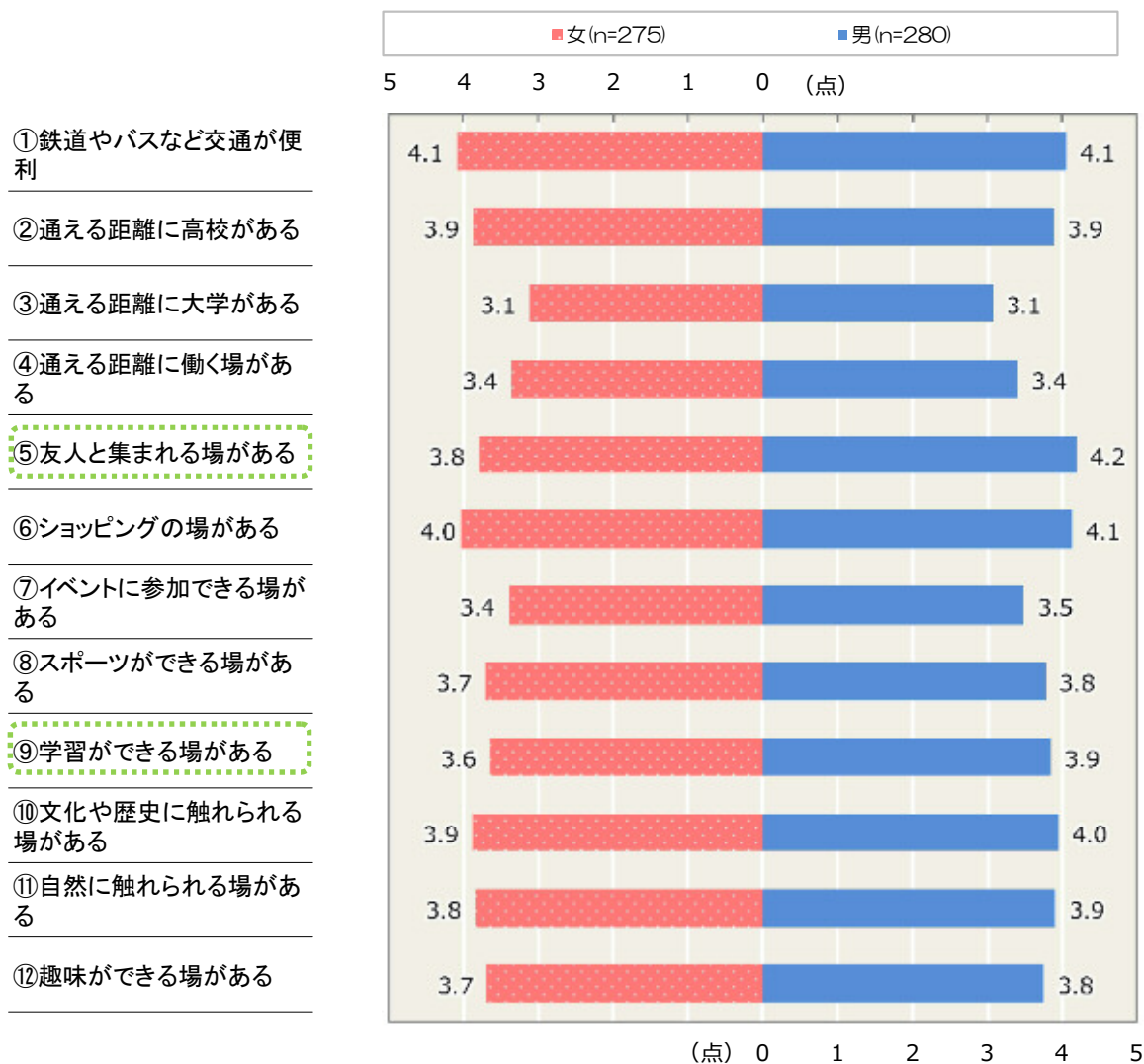
多賀城市の中学3年生は、日々の暮らしに対して満足度が高い傾向にある。①鉄道やバス、②通える距離に高校がある、と日々の生活に密着した項目が挙げられている。さらに、⑥ショッピングの場、⑦イベントに参加できる場、⑧スポーツ、⑨学習の場、⑩文化や歴史、⑪自然、⑫趣味などと、友人との交流や趣味・スポーツなど積極的に関われる場に対して満足度が高い、正の相関にある。

行動範囲が限られ、かつ多様な生活経験の乏しい中学3年生にとって、“現在の生活そのもの”が暮らしの満足度に直結するため、大人の場合の満足度とは異なると考えられる。大人はライフスタイルや価値観の違いによって満足度が連動すると考えられるが、中学3年生の場合は実際の生活において納得度が高ければ、それに連動して重要度も高まると考えられる。

性別で比較すると、男女ともにほぼ同じ結果が出た。だが、「友人と集まれる場がある」においては0.4の差で男子よりも女子のほうが満足度は低い。他に、「学習ができる場がある」も0.3の差で男子よりも女子は満足度が低いという結果となった。

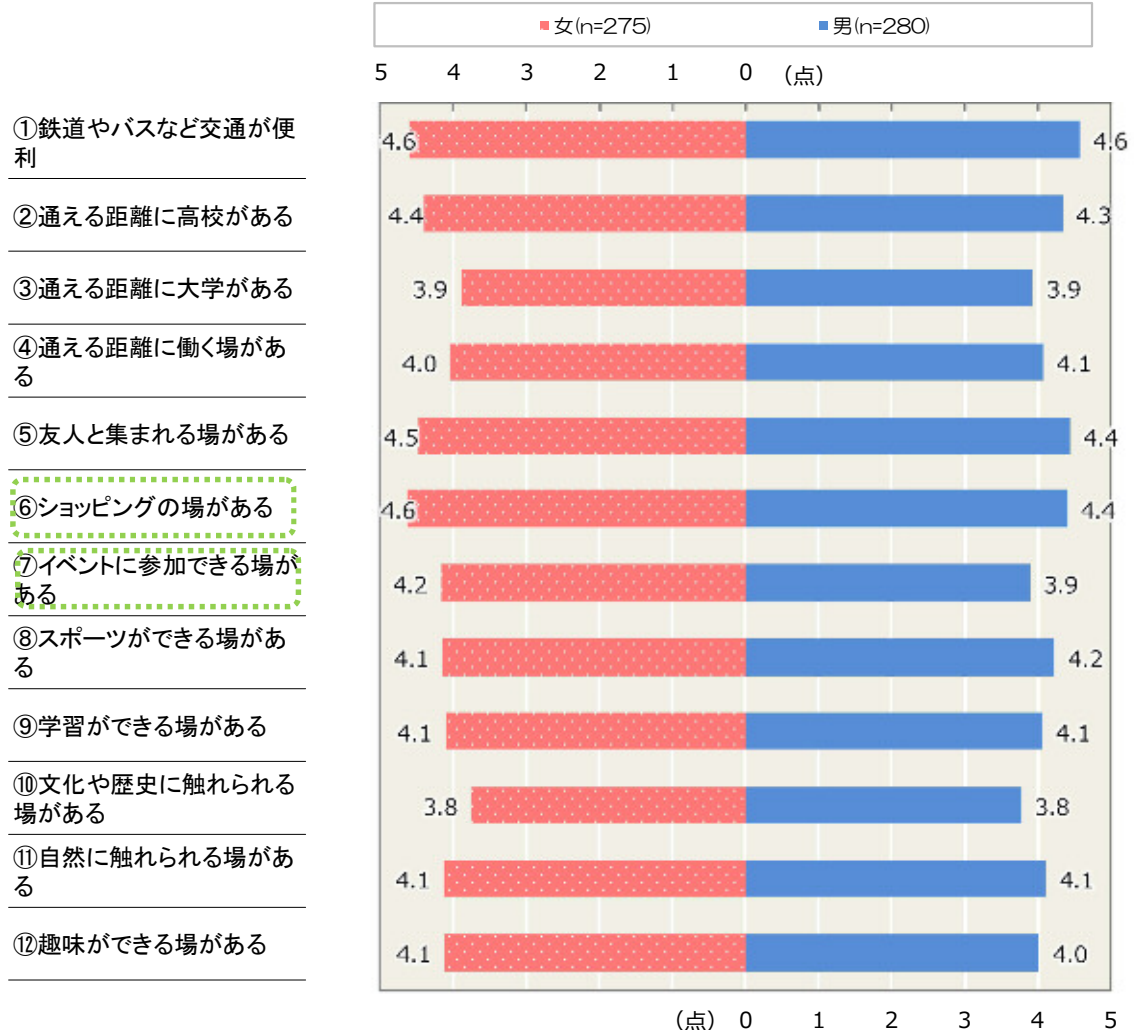
また、毎日の暮らしでは、「イベントに参加できる場がある」0.3の差、「ショッピングの場がある」0.2の差で、女子のほうが男子よりも重要度が高い。

図表 19 性別にみる多賀城市の暮らしの満足度



* 「満足」5点～「不満」1点とし、そのうえで回答者の平均値を算出

図表 20 性別にみる多賀城市の暮らしの重要度



* 「満足」5点～「不満」1点とし、そのうえで回答者の平均値を算出

4.2.2 社会性を培う場

今回の調査は、暮らしの満足度のみ尋ねたが、過ごし方の中身については『中学生意識アンケート』（平成 25 年実施）を参考としたい。平日の午後の過ごし方として、中学 1～3 年生全体では、「部活動」「勉強」が多いが、中学 3 年生に限っていえば「勉強している」47.2%、「ゲームやメールをしている」36.4%が多い（図表 21）。

自由な時間を過ごすための場所として「ひとり落ち着いて過ごせる場」「体を思い切り動かす場所」が上位 2 項目となったが、中学 3 年生の特徴として「自由におしゃべり」「家ではできない趣味ができる」「趣味の人や情報と出会える」場を望む率が高くなり、将来や生涯のコミュニティづくりにもつながる社会性が育まれてきている様子が伺える（図表 22）。

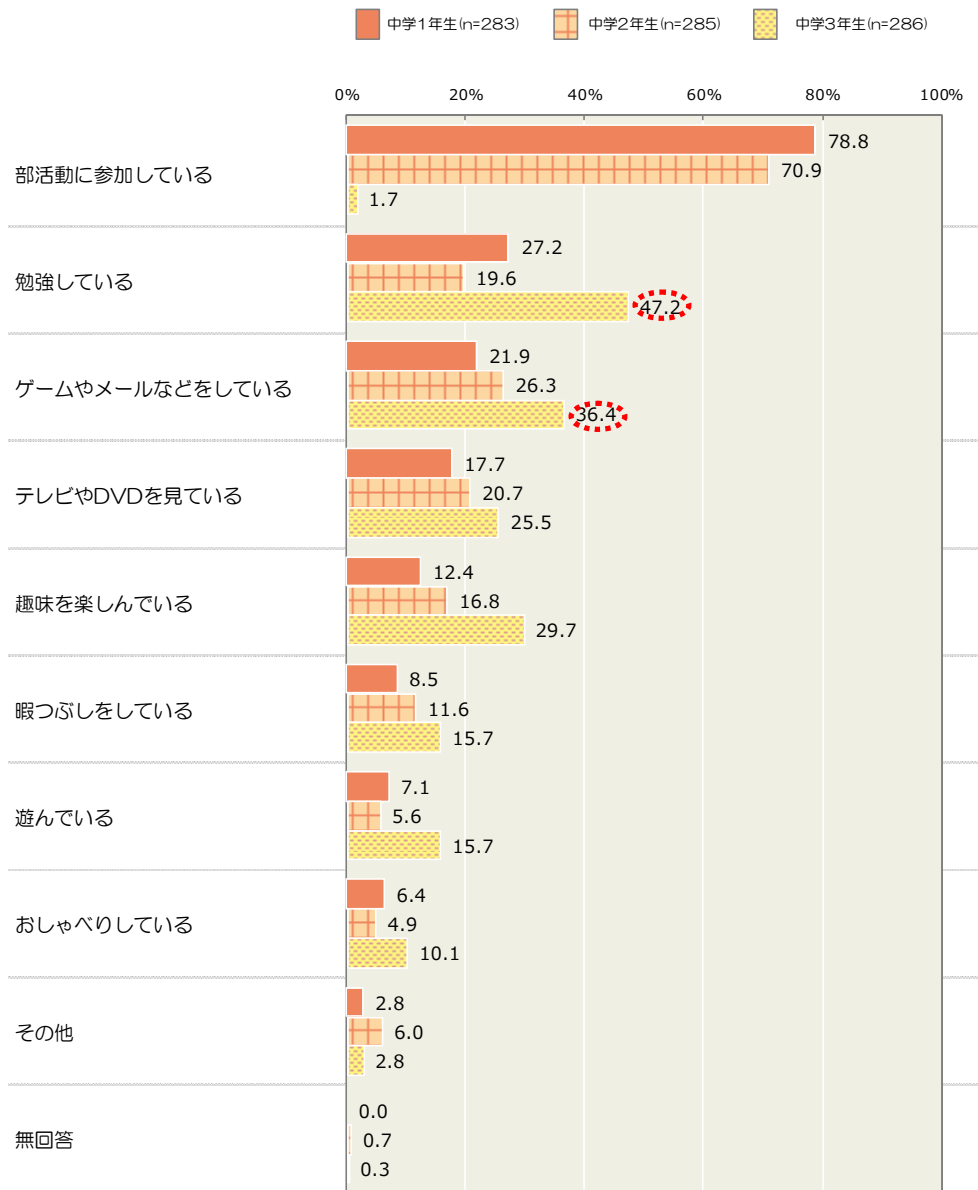
家族や家庭内で愛情を感じる事があればこそ、安心感を抱いて社会へ飛び立とうという気持ちが芽生える。これが、夢を持つことに繋がるといえよう。この自己肯定感を感じられるのは、図表 23 に示したように「大切にされている」「愛されている」「頼りにされている」ことであり、4 割～2 割の中学生が感じていることは重要なことである。しかし、「わからない」と不安に感じている中学生（1～3 年生全体平均）が 38.5%と、3 人に 1 人以上いるという事実にも注目せねばならない。

友人とのコミュニケーションだけでなく、社会性がより芽生える場として、スポーツや（趣味を通じて）文化活動を共有できる場の創出は重要となろう。

4.2.3 「ふるさと多賀城市」への愛着

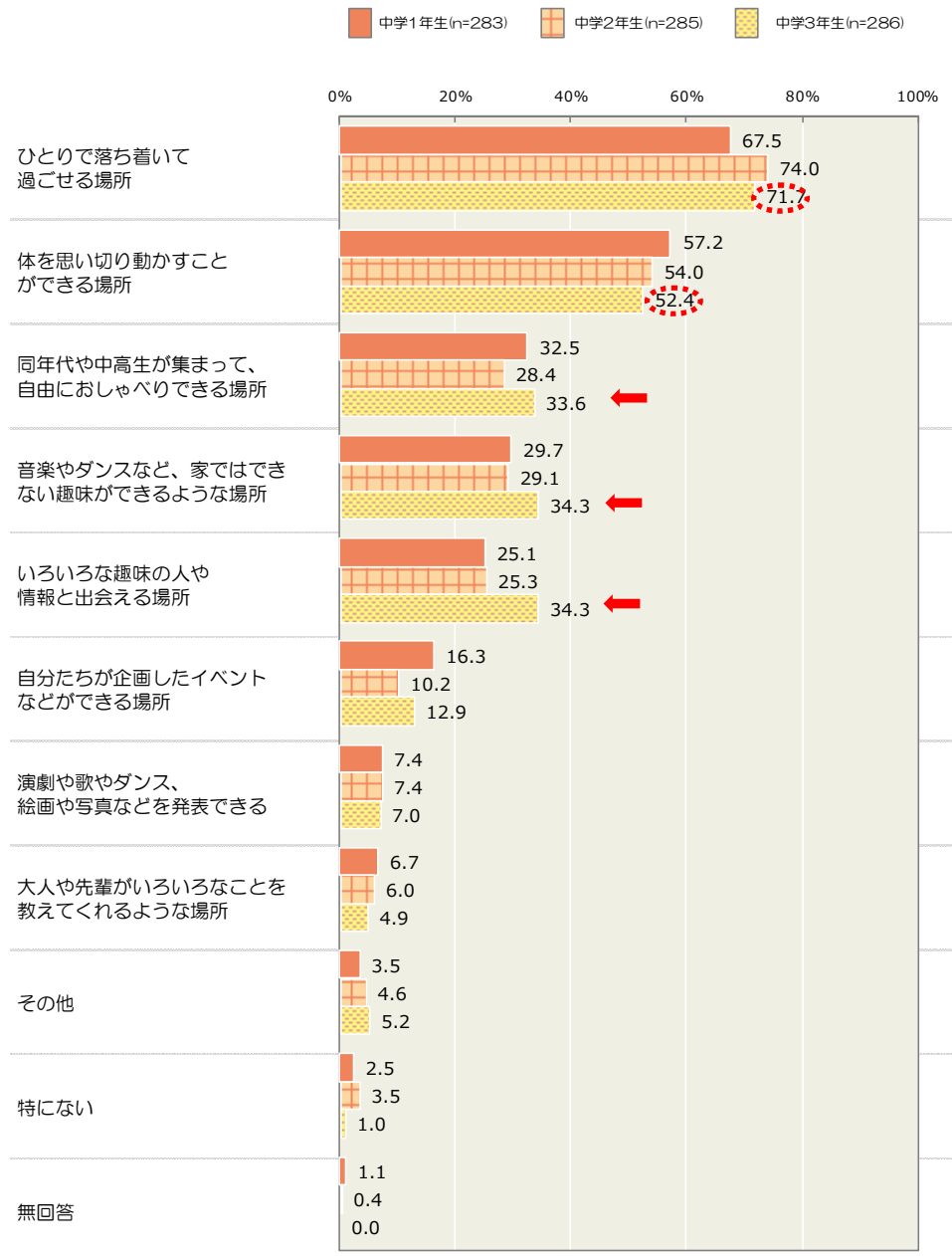
多賀城市への愛着は 8 割強が感じているという結果はすでに述べた通りだが、中学 3 年生の「ふるさと多賀城」への愛着の要因として、家族との関係、友人との関係が良好であることが大前提である。また、自然あふれる場や文化施設などで集い、体験を共有できることも重要だが考えられ、こうした体験を通じて愛着も、さらに強まると推測される。

図表 21 平日の放課後にやっていること【参考】



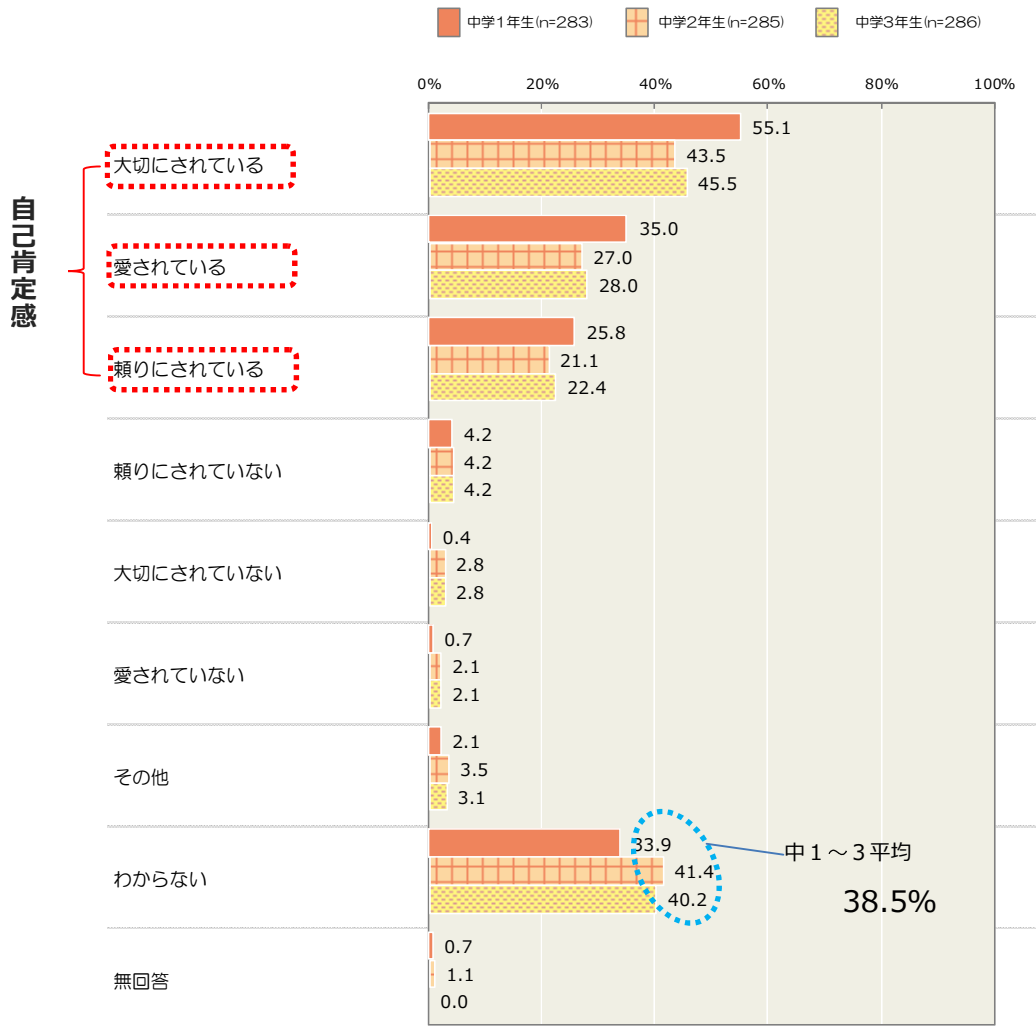
*平成 25 年『多賀城市 中学生意識アンケート』から抜粋

図表 22 自由な時間を過ごすためにならいい場所【参考】



*平成 25 年『多賀城市 中学生意識アンケート』から抜粋

図表 23 家族からどう思われているか【参考】



*平成 25 年『多賀城市 中学生意識アンケート』から抜粋

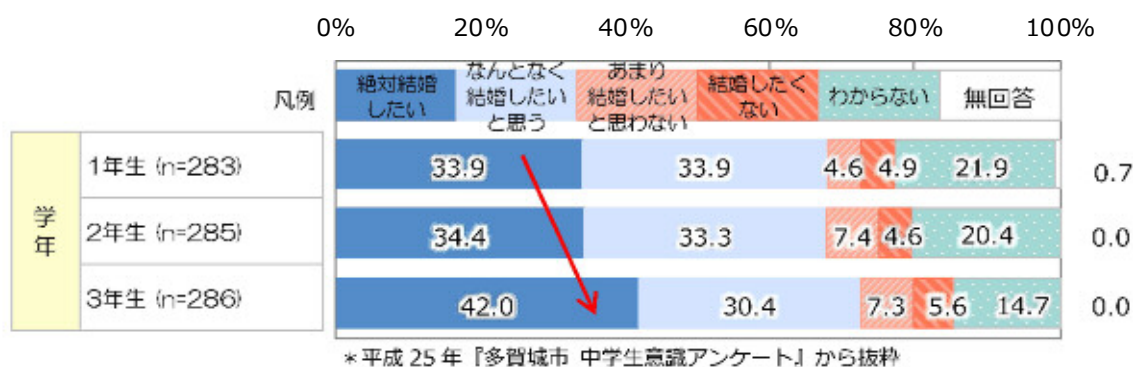
4.3 結婚への憧れ

4.3.1 結婚の意志

中学3年生の7割は「結婚したい」と考えており、「結婚したくない」と結婚に否定的なのは1割強にのぼる（前述、『多賀城市 中学生意識アンケート』）。また、2割が「わからない」と曖昧であり、中学生の年代では「結婚観」がメディアや身内の言動に影響されやすいことを考えると、家族や自立、結婚へのよいイメージを提供していくことも重要となろう。

また、大切なものをどう捉えているか。8割が「命あるもの」とトップに挙げられ、7割が「家族・友人との関係」を挙げている。

図表 24 学年別にみる結婚観【参考】

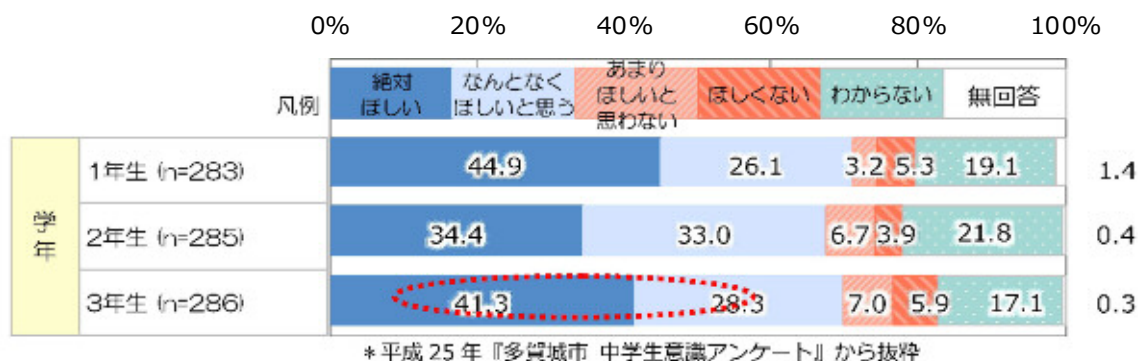


4.3.2 将来の“自分の子ども”

将来、自分の子どもが欲しいかという設問では、約7割が欲しいと回答している。

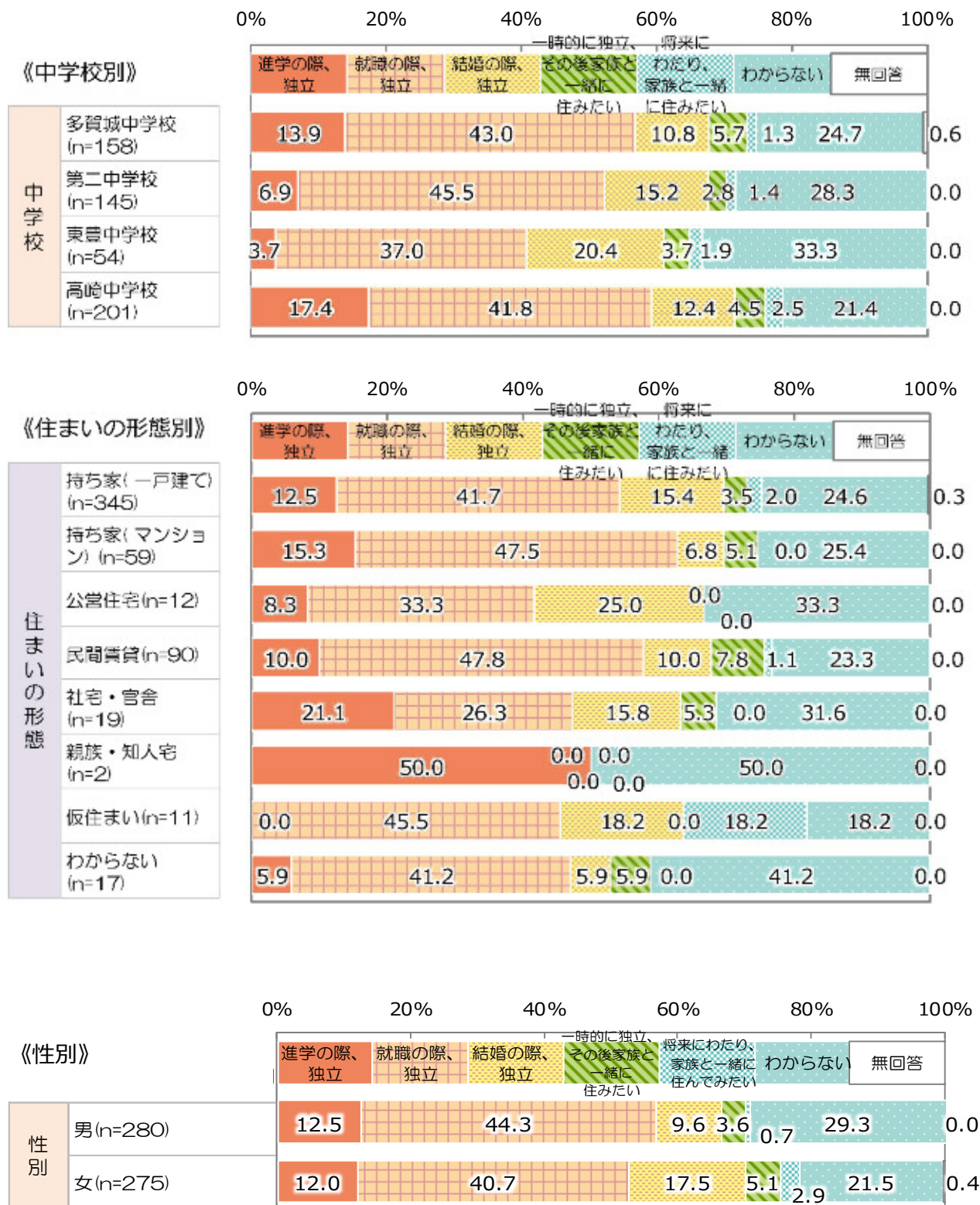
本調査同様、夢を抱き、将来に思いを馳せることのできる環境（家族、地域）とともに、家庭を築き上げていくことのすばらしさに、自然と気づくことができる環境も重要だろう。

図表 25 学年別にみる将来の自分の子ども【参考】



5 参考資料

5.1 独立意向の実態



5.2 調査票

多賀城市のまちづくりを みなさんの将来に向けたお考えについて

— 地方版総合戦略策定にあたっての中学3年生アンケート —

中学生のみなさん、日々勉強にスポーツに励んでいること
と思います。また、地域や社会のことにも関心が高まり、日
本の人口が減少傾向にあることを知っている人も多いこと
でしょう。いま、政府では人口の維持・増加に向けて、国全体
で取り組みを始めました。

市役所でも多賀城市の将来について考える計画(人口ビジョ
ン・地方版総合戦略)の策定を進めています。

そこで、将来の多賀城市を担う中学3年生のみなさんのお
考え、意見をいただき、計画づくりの参考にするためにアンケートを実施します。このアンケートは、市
内の中学3年生全員にお願いしています。

なお、回答いただいた内容は、統計としてのみ使わせていただきますので、みなさんにご迷惑をおかけ
することはありません。普段考えていることをありのままに教えてください。よろしくお願いします。



2015年6月
多賀城市長 菊地 健次郎

Q1 あなたの性別についてお聞きします。番号に1つだけ○印をつけてください。

- 1 男
- 2 女

Q2 いま通っている中学校はどちらですか。1つだけ○印をつけてください。

- 1 多賀城中学校
- 2 第二中学校
- 3 東豊中学校
- 4 高崎中学校

Q3 あなたが現在生活している住まいは、以下のいずれでしょうか。1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 5 社宅・官舎 |
| 2 持ち家（マンション） | 6 親族・知人宅 |
| 3 公営住宅 | 7 仮住まい（仮設住宅、みなし仮設） |
| 4 民間賃貸住宅（アパートなど） | 8 分からない |

Q4 あなたにとって家族は、どのような存在ですか。 1つだけ○印をつけてください。

- 1 とても大切
- 2 どちらかといえば大切
- 3 どちらかといえば大切とは思わない
- 4 大切とは思わない
- 5 わからない

Q5 あなたにとって友だちは、どのような存在ですか。 1つだけ○印をつけてください。

- 1 とても大切
- 2 どちらかといえば大切
- 3 どちらかといえば大切とは思わない
- 4 大切とは思わない
- 5 わからない

Q6 あなたは、自分の将来に夢を持っていますか。 1つだけ○印をつけてください。

- 1 具体的な夢があり、その実現のために努力している
- 2 なんとなく夢はある
- 3 将来に夢を持っていない
- 4 考えたことがない

Q7 あなたは将来、家族から独立すると思いますか。 1つだけ○印をつけてください。

- 1 進学の際、独立すると思う
- 2 就職の際、独立すると思う
- 3 結婚の際、独立すると思う
- 4 一時的に独立するが、その後家族と一緒に住みたいと思う
- 5 将来にわたり、家族と一緒に住んでいると思う
- 6 わからない

Q8 あなたが独立する場合、住みたい場所はどこですか。 1つだけ○印をつけてください。

- 1 多賀城市
- 2 仙台市
- 3 東京や首都圏
- 4 その他 ()
- 5 わからない

Q9 あなたは、多賀城市に愛着を感じていますか。 1つだけ○印をつけてください。

- 1 感じている
- 2 どちらかといえば感じている
- 3 どちらかといえば感じていない
- 4 感じていない

【満足度】

Q10 あなたが多賀城市（今のお住まいの地域）で暮らしているなかで、次の①から⑳までの事柄はどの程度満足していますか。それぞれの項目ごとに、1つずつ○印をつけてください。

	満 足	満 ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も い え な い	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満
(例) 中学校が近いこと		○			
①鉄道やバスなど交通が便利なこと					
②通える距離に高校があること					
③通える距離に大学があること					
④通える距離に働く場があること					
⑤気軽に行ける距離に、友人と集まれる場があること					
⑥気軽に行ける距離にショッピングの場があること (仙台市内のショップ、アウトレットモールなど)					
⑦気軽に行ける距離に、イベントに参加できる場があること (コンサート、展示会、スポーツ観戦など)					
⑧気軽に行ける距離に、スポーツができる場があること (野球場、プール、スポーツ施設など)					
⑨気軽に行ける距離に、学習ができる場があること (図書館、文化センターなど)					
⑩気軽に行ける距離に、文化や歴史に触れられる場があること (博物館、名所旧跡など)					
⑪気軽に行ける距離に、自然に触れられる場があること (公園、スポーツ施設など)					
⑫気軽に行ける距離に、趣味ができる場があること (習い事のスクール、カルチャーセンターなど)					

【重要度】

Q11 あなたが多賀城市（今のお住まいの地域）で暮らしているなかで、次の①から⑫までの事柄はどの程度重要ですか。それぞれの項目ごとに、1つずつ○印をつけてください。

	重 要	重 要 ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も い え な い	重 要 で な い と い え ば	重 要 で な い
(例) 中学校が近いこと		○			
①鉄道やバスなど交通が便利なこと					
②通える距離に高校があること					
③通える距離に大学があること					
④通える距離に働く場があること					
⑤気軽に行ける距離に、友人と集まれる場があること					
⑥気軽に行ける距離にショッピングの場があること (仙台市内のショップ、アウトレットモールなど)					
⑦気軽に行ける距離に、イベントに参加できる場があること (コンサート、展示会、スポーツ観戦など)					
⑧気軽に行ける距離に、スポーツができる場があること (野球場、プール、スポーツ施設など)					
⑨気軽に行ける距離に、学習ができる場があること (図書館、文化センターなど)					
⑩気軽に行ける距離に、文化や歴史に触れられる場があること (博物館、名所旧跡など)					
⑪気軽に行ける距離に、自然に触れられる場があること (公園、スポーツ施設など)					
⑫気軽に行ける距離に、趣味ができる場があること (習い事のスクール、カルチャーセンターなど)					

ご協力ありがとうございました。